

一人当たり1万3377円負担の消防費

## 市民生活を守るため 必要不可欠な経費です

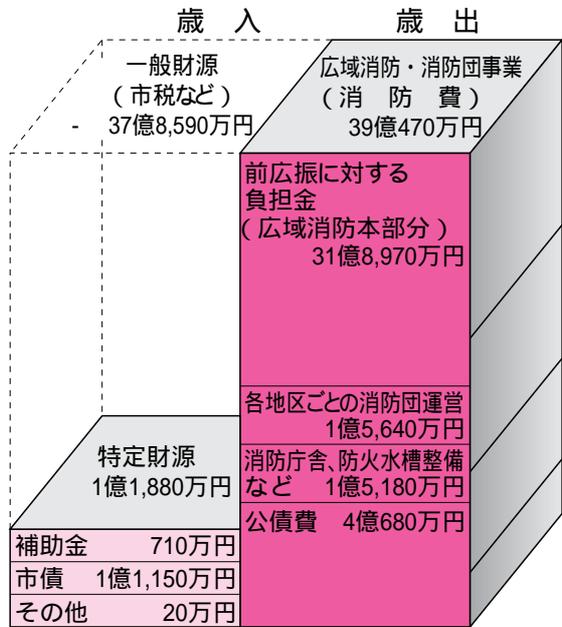
寒さが厳しくなり、火を使う機会も増えていきます。二月は空気が乾燥し、火事の危険性が最も高まる時季。そこで今回は、消防について考えていと思います。

### 消防費は39億円

平成十三年度の消防費は、左図のとおり。前橋広域市町村圏振興整備組合（前広振）に対する消防などの負担金、各地区の消防団運営経費、公

債費（借入金の返済）など、総額三十九億四百七十万円を支出しました。

これに対し収入は、ポンプ自動車購入に対する国の補助金や防火水槽工事などに充てる借入金（市債）などの「特定財源」が一億千八百八十万円。一方市民が負担する市税などの「一般財源」は三十七億八千五百九十万円、市民一人当たり一万三千三百七十七円を負担してい



平成14年3月末人口 283,005 人  
市民一人当たり 13,377円( - )÷ }を負担



ることになります。

### 必要不可欠な経費

消防経費の約八割を占める前広振負担金は、本市、富士見村、大胡町、宮城村、粕川村が共同して運営している消防救急業務に対する負担金。消防職員の人員費や消防車両の維持管理経費などに充てられています。

また、各地区の消防団や防火水槽は、地域の消火活動には欠かすことができないもの。消防庁舎・消防署などの施設も、市民への災害情報の提供や、迅速な消防活動のために必要です。

消防活動は、直接、人命にかかわってくるもの。すべてが必要不可欠な経費ですが、少ない経費で、より充実した活動ができるように効率的な運営に努めています。

問い合わせは財政課 890 6542、消防本部総務課 220 4505へ。

## 前橋工科大

### 科目等履修生と 嘱託職員を募集



図書館業務の嘱託員も募ります

大で2月24日 から掲示

### 事務などの嘱託職員

前橋工科大では、平成十五年度前期の科目等履修生と、四月一日付で採用する実験補助や図書館業務などの嘱託職員を募集します。

### 前期科目等履修生

試験日 3月3日 会場 前橋工科大 出願期間 2月27日・28日 出願資格 次のいずれかに該当する人。高等学校卒業 通常課程による十二年の学校教育を終了 高等学校を卒業した人と同等以上の学力がある人 認められる人 募集人数 若干人 履修期間 4月～9月の半年間 募集要項の請求 百四十円切手を張った、あて先明記の封筒(角2)を〒371-0816前橋市上佐鳥町四六〇 一・前橋工科大事務局へその他 履修許可科目の内容は同

職種・採用予定数 建築学実験補助および学科事務 一人 附属図書館図書業務 二人 情報センター業務 二人 事務局事務補助 一人 対象 建築専攻の短大卒以上の人は司書資格がある人 はコンピュータシステムおよびネットワーク管理ができる人 は経理事務の経験がある人 勤務時間 午前8時30分～午後10時までの六時間で週三十時間程度 申し込み 2月21日 までに履歴書を〒371-0816前橋市上佐鳥町四六〇 一・前橋工科大 建築学科長 へは学務課長へ 問い合わせは同事務局総務課 265 0111へ。